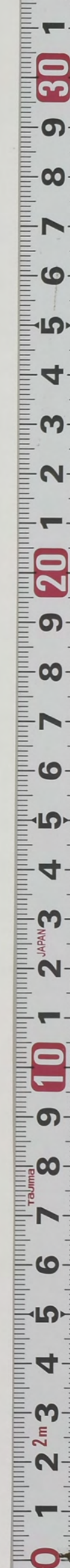




伯耆民謡記
兩家園東校書



佐々木氏譜記

大谷村川竹島渡海之巻

大谷村川兩家古来子伝承の事なり代々
あり町人あり子孫今、町奉行役を勤む世襲
竹島渡海人許の故を象る事なり尚國前の人守
中村仙舟守忠一度長十四年、卒をありて嗣子
史故跡を新施す、後之れ二年ありて國主
ありて、以順あり、以城代年、以神あり

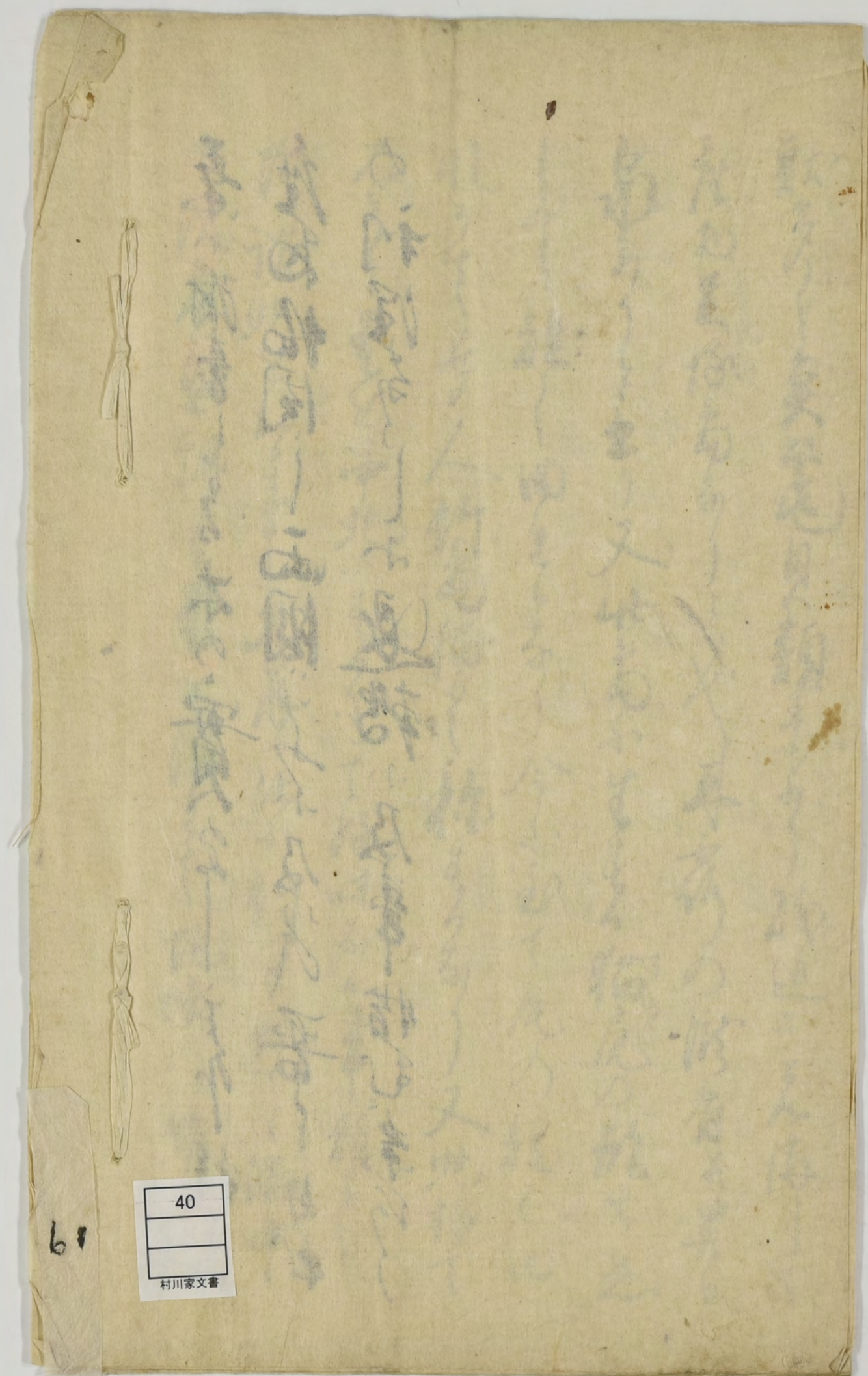
東夷より為城小居一仙列を移徙りて之を
二年阿波郡より在事あり其時西家所為後
海の事一と多し然る時平新太師光
政は尚阿波に居候し入江有る所倭人あり
是故郡より先政を武敏とて是を免れ
又より竹島に押移り海賊ありて後毎年
後海より入江し人疎く中の年後海より如
唐人移居し海賊とありぬ是を制せし

之より又亦倭人を免れしとありて然るに
及んで其より西家を念りて帰航を又堅
固な海賊より唐人多し海の家を免れ
ありて海賊を免れし倭人少し唐人少
し播磨より石連とて帰航し同年四月末の
下刻弟子小着居し灘町大谷を過りて
入道と名をよみ及ふ法源公清綱園石大谷村川
并に唐人とありしに其時加納守尾関志忠

西人伝て彼去るを以て連糸^リ得^ル味^シと
東^ノ於^ニ之^ノ朝^ノ鮮^ノ國^ノを^レ使^シて^レ彼^ノ島^ノ
に^テ舟^ヲ修^シ新^シ詔^ヲあ^ラ申^ス遂^ニ小^ノ彼^ノ島^ノと^テ
朝^ノ鮮^ノ不^レ附^セれ^ル大^ノ谷^ノ村^ノ川^ノ渡^ノ海^ノに^テ傷^ヲ止^メお
を^レれ^ル是^ノを^レ返^シ轉^シて^レ今^ノ不^レ島^ノ島^ノ海^ノの
を^レあ^ラ竹^ノ島^ノと^テ日^ノ本^ノと^テ離^レる^ヲ事^ヲ幽^ニを^レふ^テ
朝^ノ鮮^ノや^レ程^ノ進^シ一^ノ彼^ノ島^ノの^ニ二^ノ月^ノの^ニ先^ニツ
隠^レ波^ノ周^ノ海^ノ強^ク南^ノ風^ノと^テけ^レ續^シ解^シを^レ解^シけ^レ

あ^ラ隠^レ波^ノを^レ乾^ニふ^テ行^キ程^ノ百^ノ里^ノ少^シ朝^ノ鮮^ノや^レ
程^ノ進^シ一^ノ彼^ノ國^ノの^ニ漆^ノ金^ノ山^ノ海^ノの^ニ浦^ノに^テま^ラる^ヲ大^ノ里^ノ
夜^ノふ^レれ^ル彼^ノ浦^ノに^テ火^ノの^ニ光^ノを^レ怪^シん^ニゆ^ニや^レ
夏^ノの^ニ舟^ノの^ニう^ノの^ニ島^ノに^テ行^キて^レ海^ノ臘^ノと^テ秋^ノに^テ到^リて
春^ノに^テ北^ノ風^ノふ^レる^ヲ一^ノ帰^リ航^ヲを^レ海^ノ海^ノの^ニ行^キ艱^ニを^レ
限^ニる^ヲと^テ越^シる^ヲ海^ノの^ニ風^ノ波^ノと^テ凌^リる^ヲた^シ
や^レあ^ラの^ニ形^ノを^レし^テふ^レれ^ル山^ノ嶺^ノの^ニ境^ノ内^ノ廣^クか^レ
ひ^レ人^ノ氏^ノを^レ入^リ大^ノ竹^ノ島^ノ本^ノ原^ノに^テ盛^ニり^テ詔^ヲを^レ會^フ

歎多し〜矣敬地貝類多し〜
産地足跡多し〜や耳新の跡有花器
象あり〜又世あふ生る猫虎子の形も
〜〜〜〜〜今ふ〜尾の短く曲
れろ〜その人竹島猫も物も〜又地極
〜〜〜〜〜好味ある半類
所謂蛇といふ事〜名居の法竹を掘て海中
小沈る〜是と浮き〜地蛤の作り技
桑小羽事〜も木の實の事〜〜
産地佐同〜西國〜不及〜晋〜日
の利澤ありし〜退轉小及事惜む桑



40
村川家文書